

須坂市 農業委員会だより

第89号

発行編集
須坂市農業委員会
〒382-8511
須坂市大字須坂1528-1
☎026-248-9015



「農業施策に関する意見書」
の回答がありました

主な内容

- 農業施策に関する意見書の回答がありました
- 全国農業新聞のご購読を
- 農業者年金に加入しませんか
- 標準労賃・機械作業標準料金、賃借料情報
- ご存じですか？ニワウルシ
- 農業委員会活動記録
- 野焼きは原則禁止です！
- 職員の人事異動 ○ 編集後記

昨年11月17日に市長あてに提出した「農業施策に関する意見書」に対する回答が12月25日、三木正夫市長からありました。

当日は農業委員会から神林利彦会長、中村豊彦会長職務代理、丸山輝幸農業振興対策部会長、吉池寿一農地対策部会長、湯本か代子農業後継者対策部会長が出席し、回答内容の説明を受けました。

回答の要旨を次のページでお知らせします。

全国農業新聞の購読を
全国農業新聞は、わかりやすい農業・農政の解説や経営・流通の最新情報等が満載で皆様の暮らしに役立ちます。
ぜひご購読ください。
【月4回金曜日発行
購読料・月700円
(送料、税込み)】
(購読を希望される方は、農業委員または農業委員会事務局まで連絡ください。)

**農業者年金に
加入しませんか**

老後の生活を支えるための備えとして農業者年金に加入しませんか。
●**農業者年金の加入要件**●
○国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)
○年間60日以上農業に従事
○60歳未満
●**農業者年金のメリット**●
○保険料の全額が社会保険料控除の対象になります。
○積立方式・確定拠出型で長期安定の制度で安心です。
○終身年金で80歳前に死亡した場合は一時金が支給されます。
○保険料の額は経営状況などにより自由に設定できます。

問合せ
(月額2万円～6万7千円)
農業委員会事務局
☎026-248-19015

JANAの須坂支所
☎026-245-11300

意見書の回答要旨

I 農業振興対策について

1 温暖化に対応した果樹産地づくりに向けて標高等の栽培環境を考慮した品種等の研究と、温暖化に伴う開花時期の早期化により凍霜害の確率も増加しているので対策に万全を期していただきたい。

【回答】

温暖化に対応可能な新たな品種開発や栽培技術等の導入について、J Aや県など関係機関と連携を図り情報収集に努めます。

凍霜害対策として栽培管理のチラシ配布や公式SNSを活用した気象情報の発信に努めます。県でも注意喚起のメールを発信していますのでご登録をお願いします。

ながの県農業サポートメール
http://www.nmag2.com/n/
0001627956.html



また、不測の事態に備え果樹共済や収入保険に加入

することも大切です。掛金補助もありますので加入の周知をお願いします。

2 他産地との差別化を図るため、ブドウの冷凍販売など新たな販売方法の研究を

【回答】

地域資源を活用した新商品開発等の取り組みに対して経費の一部を補助しているので、農産物の加工品開発等を検討されている場合はご相談ください。

3 農業振興について

(1) 農産物直売所等の設置や市内直売所の拡充についての検討を

【回答】

市で直売所を設置することとは経営的に採算が合わず市財源で補填することになるので考えていません。

須坂温泉古城荘や湯つ蔵んど、市内スーパのほか、須坂蔵の町スクエアで「おはよう市」の定期開催を始めています。ご活用いただくようお声掛けをお願いします。

(2) 市外来訪者に対する農業体験の積極的な取り組みと小・中学校の農業体験の拡充を。

【回答】

農業体験事業の拡大には対応可能な農家を増やす必要があるため、地域に精通した農業委員・推進委員さんから対応可能な農家の紹介等の協力をお願いします。

II 農地対策について

1 地域計画策定の地域における話し合いに当たっては、関係機関との綿密な打ち合わせのうえ臨みたい。また、地元区長及び農家組合への周知と協力を図りたい。

【回答】

地域計画策定に当たって市は全体マネジメントや協議の場の運営を行うことになっていきます。実りある協議となるようJ Aや土地改良区を含め幅広い関係者に参加の呼びかけをしますが、地域を知る農業委員さん、推進委員さんの協力なくして協議は成り立たないのでご支援ご協力をお願いします。

2 東地区でニワウルシの繁茂がみられ、早めの駆除が必要な状況です。駆除に関する周知と伐採等にかかる経費の補助を検討

討されたい。

(ニワウルシについては4面をご覧ください)

【回答】

地域を把握する農業委員会から耕作放棄地になる前に農地周辺の原野所有者や農地所有者に周知をお願いします。

なお、耕作放棄地の解消については、遊休農地解消対策事業補助金をご活用ください。

III 農業後継者対策について

1 ブドウ棚設置費用の高騰に見合うよう樹園地拡大事業補助金の補助上限額を見直されたい。

【回答】

本補助金は、ふるさと納税の基金が財源で恒久的に確保できない事、県内ほとんどの市町村で制度自体がない状況であるので増額は考えていません。

2 次世代人材投資事業の農家子弟のリスク要件緩和について国に要望されたい

【回答】

本制度はリスク要件という概念はなく、農家子弟は対象としない制度となつて

いるため要件の緩和は難しいと考えます。

なお、市独自の新規就農研修給付金制度により農家子弟の確保に努めております。

3 新規就農者支援について

(1) 新規就農者のブドウ園地について研修期間終了までに確保ができるよう引き続き支援をお願いします。

【回答】

地域での話し合いの中で、一定規模で農地がまとまり、次の担い手が確保できるようであれば基盤整備を含めた支援を行います。

園地が見つからない場合、遊休農地解消対策事業や樹園地拡大事業を利用してブドウ棚を設置し、改植等についてはJ Aで果樹経営支援対策事業や果樹未収益期間支援事業を行っていますので、制度の周知に努めます。

(2) 新規就農者の作業場の確保に向けて引き続きの取り組みをお願いします。

【回答】

引き続き作業場確保に努めますが、農業委員会においても候補地等の情報提供をお願いします。



令和6年度 農作業標準労賃・機械作業標準料金

1 農作業標準労賃 これを目安に当事者間で十分協議してください。

作 業 名		単 位	金 額	備 考
稲 作 作 業	田 植 作 業	1 時間	980 円	植付準備作業、消毒作業含む
	一 般 作 業	〃	950 円	
畑作・花き	一 般 作 業	〃	950 円	
果 樹 作 業	剪 定 作 業	〃	1,920 円	接木作業含む
	技 術 作 業	〃	1,700 円	棚建て
	一 般 作 業	〃	950 円	袋かけ・摘果(花)・房切・摘粒作業 収穫荷造作業を含む
酪 農	搾 乳 作 業	〃	1,320 円	
きのこ	一 般 作 業	〃	950 円	

※ 最低賃金の改定により一般作業労賃が長野県の最低賃金を下回ることになった場合は、改定の日から県の最低賃金（時間額）を一般作業の標準労賃とします。

2 機械作業標準料金（税込）

作 業 名		単 位	金 額	備 考
機 械 作 業	水 田 耕 起	10a	9,100 円	15cm 耕起標準
	畑 耕 起	〃	9,100 円	礫混入畑、耕地の不整形、小面積 及び果樹園の場合は別に考慮する
	水 田 代 か き	〃	9,850 円	
	田 植 作 業	〃	11,200 円	植付のみ、標準は2条植
	稲刈結束（バインダー）	〃	12,000 円	結束ヒモ代含む
	脱穀（ハーベスター）	〃	12,000 円	乾燥のよいもの
	S S 防 除	〃	5,100 円	1回、薬剤費別
	コ ン バ イ ン	〃	26,900 円	結束込み 結束なしは2,000円減 機械運搬料は別途
	粃 自 動 乾 燥 機	1 kg	25 円	乾燥のよいもの
	草 刈 作 業	10a	4,800 円	乗用草刈機による作業
		1 時間	1,750 円	刈払機による作業
	バックホー（2t程度） 機械運搬料別途	〃	5,800 円	機械（燃料費込）のみ4,050円 オペレーター労賃1,750円
	大型機械オペレーター労賃	〃	1,750 円	S S の運転も対象

※ 燃料費込み運転者付き ※ 機械のみを借りの場合は上記の7割程度

賃借料情報

令和5年1月から12月までに締結（公告）された市内の農地の
賃借料（10アール当たりの年額）等は、以下のとおりでした。

農 地 区 分		平均額	最高額	最低額	データ数
水 田	平坦地	8,400 円	13,900 円	4,500 円	10
	中山間地	データなし			2
樹園地	リンゴ	11,700 円	20,100 円	4,600 円	20
	ブドウ	17,000 円	30,300 円	5,500 円	94
	桃	データなし			4
	梨				1
	プルーン				4
普 通 畑		5,700 円	13,300 円	3,000 円	26

・平均と比較して著しく高額または低額な賃借料は、特殊取引として除外しました。
・金額は契約額のみで算出しているため、灌水代等については勘案していません。
・金額は算出結果を四捨五入し、100円単位としました。
・データ数が公表すべき基準（5件）未満の場合は、「データなし」と表示しました。

※この情報は目安ですので、貸手と借手で十分に協議をしてください。

A photograph of a large, lush green fern frond, likely a fiddlehead, growing in a dense forest setting. The frond is highly detailed, showing the intricate structure of the leaflets. The background is a soft-focus view of a forest with more greenery and a hint of a blue sky.

農政懇談会

12 ／ 25	農業施策に関する意見書の回答
2 ／ 15	須高地区農業委員会協議会会長・事務局 長会議
2 ／ 20	長野県農業委員会女性協議会研修会
3 ／ 6	農業女子との交流会
3 ／ 25	農作業標準労賃等協 定会議
3 ／ 26	長野県農業会議第9 回臨時総会
	その他、定例総会・協議会（毎月末開催）、各対策部会、情報・研修委員会、意見書策定検討委員会の開催、農地パトロール、遊休農地解消モデル事業の実施など

委員 黒川

編集委員(情報・研修委員会)